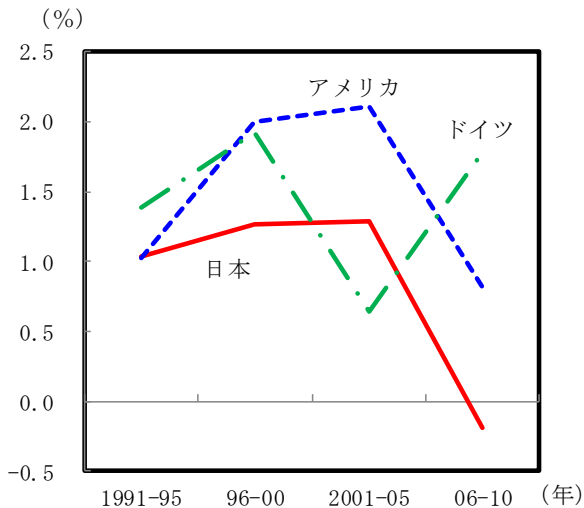


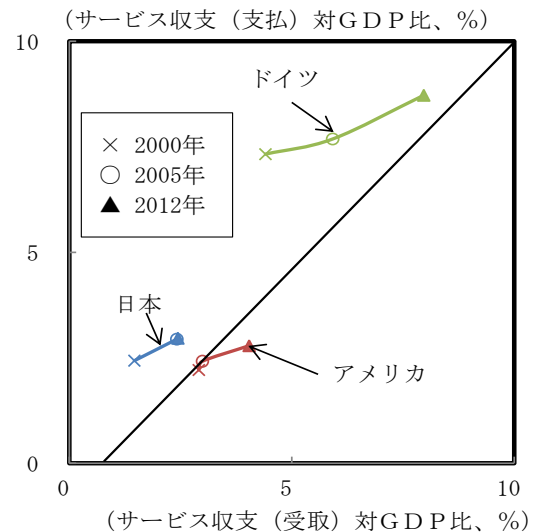
第3節 非製造業の競争力強化に向けた課題

- 我が国非製造業の労働生産性上昇率は、アメリカ、ドイツと比較して総じて低迷
- 越境取引や国外消費といった狭義のサービス貿易の規模は拡大しており、サービスの貿易可能性は向上しているが、我が国の水準は低い

第2-3-1図 非製造業の労働生産性
上昇率の国際比較



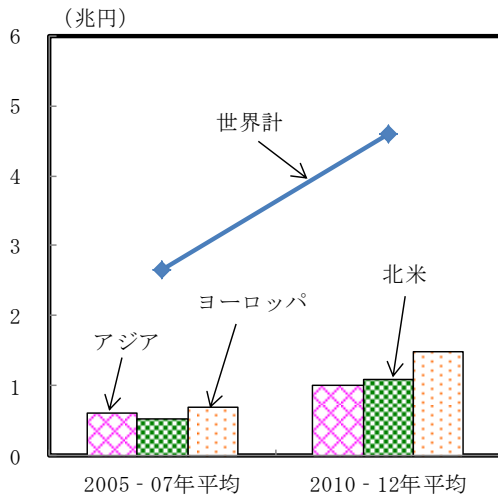
第2-3-3図 狭義のサービス貿易
(受取額・支払額)の国際比較



(備考) 1. (左図) “EU KLEMS”、経済産業研究所「JIP データベース」により作成。
2. (右図) OECD. Stat により作成。

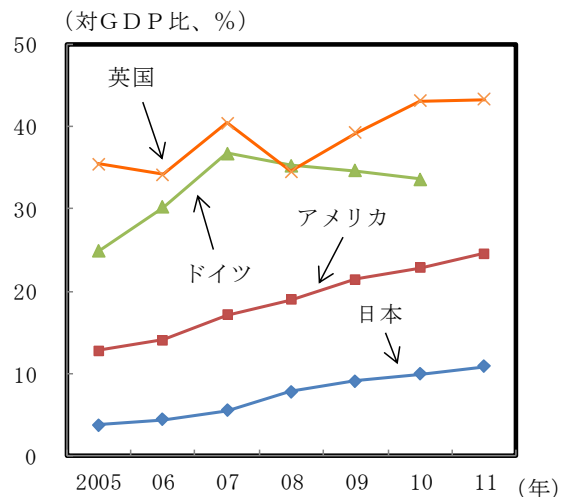
- 商業拠点の越境による広義のサービス貿易は、アメリカ、英国、ドイツと比べて低水準ながら活発化

第2-3-6図 非製造業の
対外直接投資の推移



第2-3-7図 商業拠点の越境による
サービス貿易の国際比較

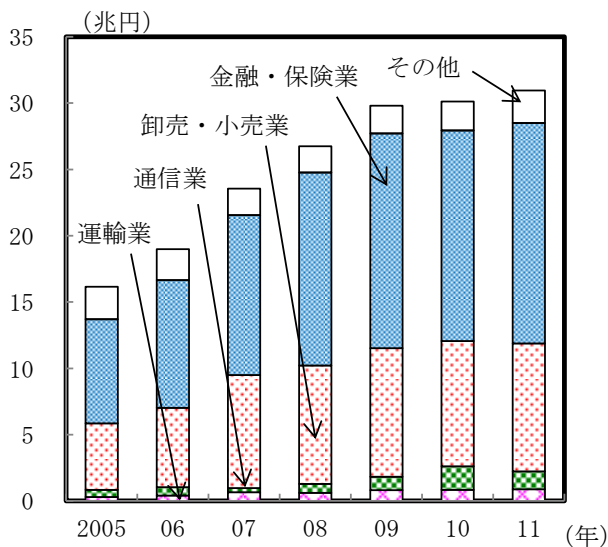
(1) 対外直接投資残高の国際比較



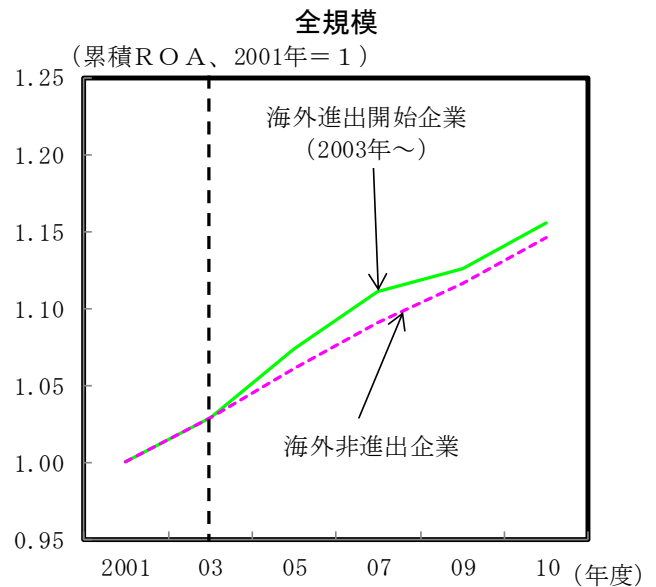
(備考) 1. (左図) 日本銀行「国際収支統計」により作成。
2. (右図) OECD. Stat により作成。

- 近年は金融・保険業や卸売・小売業などの直接投資残高が増加
- 非製造業企業の収益性は、海外進出開始後に上昇する傾向

第2-3-7図 (2) 我が国非製造業の
対外直接投資残高の業種別内訳



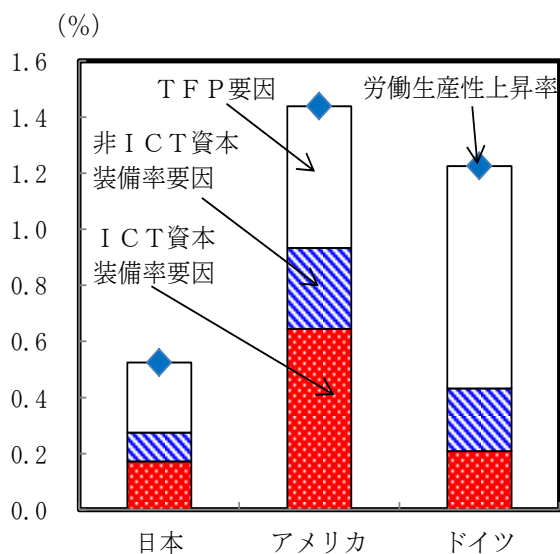
第2-3-8図 非製造業における海外進出
開始企業と非進出企業の収益性の比較



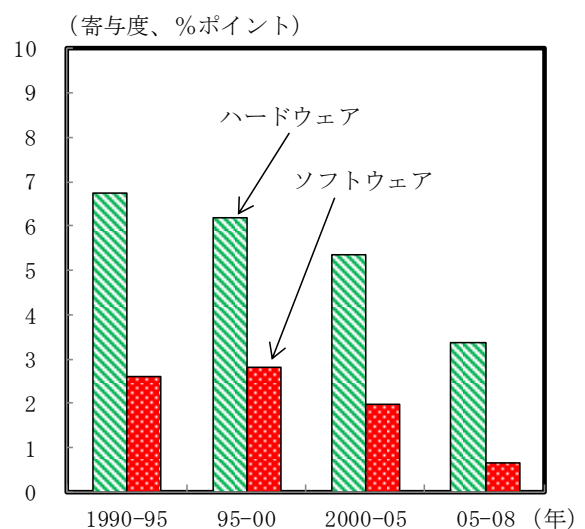
- (備考) 1. (左図) 日本銀行「国際収支統計」により作成。
 2. (右図) 経済産業省「企業活動基本調査」の個票データにより作成。
 3. (右図) は、各年のROAを収益率とみなしたときの累積した収益率。2001年を1として、各年のROAを掛け合わせて求めている。海外進出開始企業とは、2003年に海外進出を開始した企業のこと、海外非進出企業とは海外進出を実施していない企業のことを指す。

- 非製造業の労働生産性上昇率の低迷は、ICT資本蓄積の低さが一因
- ICT投資の中でも、コンピュータや通信機器などのハードウェアに比べ、調達管理システムや顧客管理ソフトなどのソフトウェア投資に遅れ

第2-3-10図 非製造業の労働生産性
上昇率の要因分解



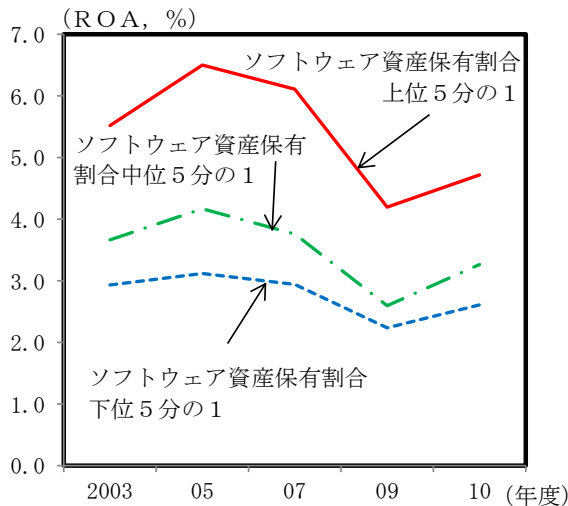
第2-3-12図 (3) 付加価値成長に対する
種類別ICT資本の寄与



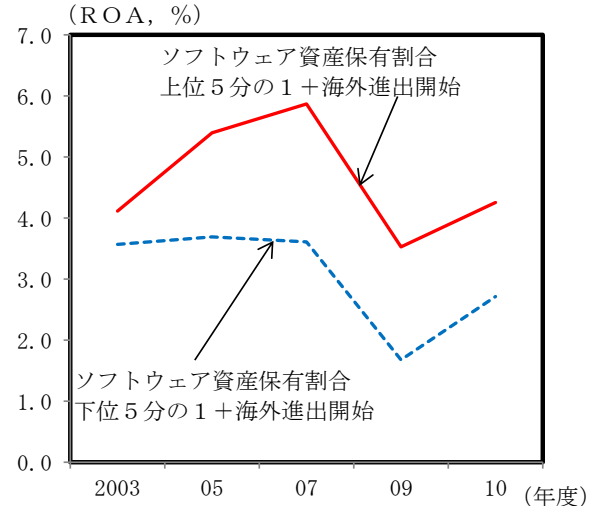
- (備考) 1. (左図) “EU KLEMS”、経済産業研究所「JIPデータベース」により作成。2001年から2010年の平均成長率。
 2. (右図) 経済産業研究所「JIPデータベース」により作成。

- ソフトウェア資産保有割合が大きいほど、非製造業企業の収益性は向上
- 海外進出とソフトウェア投資は、収益性向上に相乗効果を持つ

第2-3-13図 ソフトウェア資産保有割合の違いによる収益性の比較（非製造業）



第2-3-14図 海外進出開始企業のソフトウェア資産保有割合と収益性（非製造業）

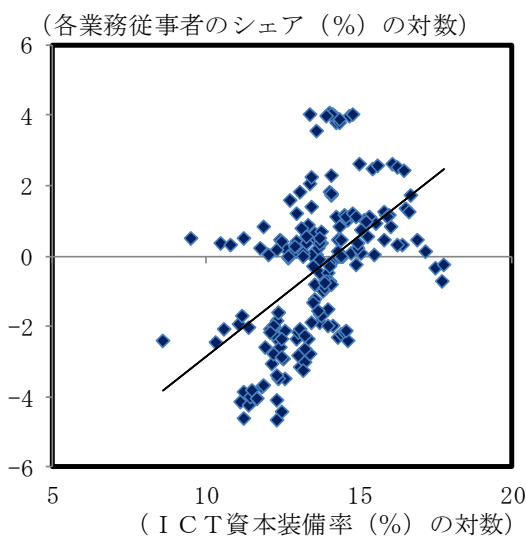


(備考) 1. 経済産業省「企業活動基本調査」の個票データにより作成。
 2. 「ソフトウェア資産保有割合上位（中位、下位）5分の1」とは、総固定資産額に占めるソフトウェア資産の割合（ソフトウェア資産保有割合）を五分位階級に分類したときの第1（第3、第5）五分位階級に属する企業のこと。海外進出開始とは、2003年に海外進出を開始した企業のこと。

- ICT資本蓄積に伴って、企画・立案や研究・分析などの高度な専門知識を活用する業務（非定型業務）に従事する人の割合が増加
- ICT投資と同時に組織改革を行い、更に高度知的業務に従事する人の割合を高めることで、非製造業の生産性は上昇する可能性

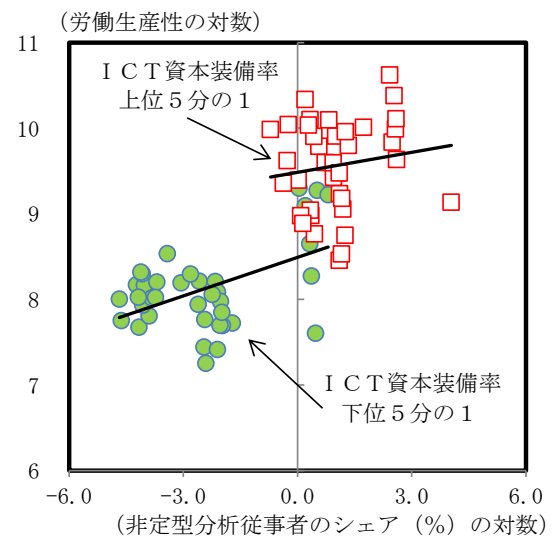
第2-3-15図 ICT導入と業務内容の変化（非製造業、1985～2010年）

(1) 非定型分析



第2-3-16図 非定型業務と労働生産性（非製造業、1985～2010年）

(1) 非定型分析



(備考) 1. 総務省「国勢調査」、経済産業研究所「JIPデータベース」により作成。
 2. (右図)の「ICT資本装備率上位（下位）5分の1」とは、ICT資本装備率を五分位階級に分類したときの、第1（第5）五分位階級に含まれるデータのこと。